

会議の設置理由

人生100年時代の社会情勢

- ・長寿命化と働き方や生き方の変化
- ・第4次産業革命による産業・社会の変化



課題（今後求められること）

- ・学校教育における、学び続けるための基盤づくり
- ・生涯にわたる学び直しの機会の提供と環境整備



「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」の設置（H30.7月設置）

富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議
会長 遠藤俊郎 富山大学長 委員22名 専門委員13名

第一分科会 （キャリア教育）

分科会会長 耳塚 寛明
お茶の水女子大学教授

【主な論点】

- ・これからのふるさと学習のあり方と推進
- ・子どもや若者に対するライフプラン教育・キャリア教育等の充実

第二分科会 （リカレント教育）

分科会会長 石塚 勝
富山県立大学長

【主な論点】

- ・県民一人ひとりのライフステージに応じた生涯学習の環境整備
- ・若手・中堅のステップアップや起業、女性のキャリアアップ、シニア人材の育成・活用に向けたリカレント教育・職業能力開発の充実

※委員の役職は当時のもの

7回の会議を経て策定

基本理念

人生100年時代の自分の未来を展望し、
生涯にわたって学び続けることにより、
地域や国際社会で生き生きと心豊かに
活躍できる人材の育成

観 点

1 自分自身で自分の人生を主体的に切り拓いていく意思を持ち、自分の未来をつくりだす能力を育成すること

2 子どもや若者がふるさとを拠りどころとして、地域や国際社会に貢献しようとする態度を育成すること

3 認知能力を伸ばしていくことに加え、非認知能力（意欲、協調性、課題解決能力等）やICTリテラシーなど、新たな時代に求められる能力を育成すること

4 誰もが何歳からでも、何度でも学び直し、能力を高められる機会と環境があること

5 家庭、学校、地域・社会、産業界、行政機関が連携してひとづくりに取り組むこと

取組みの基本的方向

（1）社会的・職業的自立に向けた能力や態度の育成（キャリア教育の充実）

- ① 職業観・勤労観の育成と社会・職業に対する理解の促進
- ② 子どもの発達段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育の推進
- ③ 教員の意識や指導力の向上

（2）自分の人生を設計する力と学び続ける態度の育成（ライフプラン教育の充実）

- ① 自分の人生を設計するための基本的な知識の習得
- ② 目標を持ち、自分の人生を設計する力の育成
- ③ 変化を前向きに受け止め、生涯学び続ける態度の育成

（1）ふるさとに誇りと愛着を持ち、社会に貢献する人材の育成（ふるさと教育の推進）

- ① 学校における「ふるさと教育」の推進
- ② 県民総参加で取り組む「ふるさと学習」の推進

（2）ふるさとを拠りどころとして、グローバル社会で活躍する人材の育成（グローバル人材の育成）

- ① 英語による確かなコミュニケーション能力の育成
- ② グローバルな視点で課題を解決できる資質・能力や態度の育成

（1）主体的・対話的で深い学びの推進による確かな学力の育成（学力向上のための取組み）

- ① 知識・技能、思考力・判断力・表現力等の育成
- ② 学びに向かう態度の育成

（2）様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決し、新たな価値を生み出す力の育成（探究力等の育成）

- ① 探究力、課題解決能力等の育成
- ② 協調性、コミュニケーション能力の育成
- ③ 幼児教育の質の向上

（3）情報や情報技術を活用していく力の育成（ICT教育の充実）

- ① ICTリテラシー（情報活用能力）の育成
- ② ICT教育の環境整備の推進

（1）一人ひとりのライフスタイルに応じたキャリア選択を行い、新たなステージを求めることができる能力・技術を身に付ける機会の提供

- ① 学ぶ人のニーズにあった多様な学習、職業能力開発の機会の提供
- ② 生涯にわたる多様な学びとその活用の推進

（2）学び直しを推進する環境づくり

- ① 学び続ける人材の育成
- ② 学びやすい環境の整備
- ③ 産学官の連携体制の構築

（1）家庭に望むこと

- ① 親としての役割と責任を自覚し、家庭教育力を高めること
- ② 保護者と学校等が一体となって子どもの成長と発達を支えること

（2）地域・社会に望むこと

- ① 地域・社会が積極的に関わり、地域の子どもを育てること

（3）産業界への期待

- ① 次世代を担う人材育成への支援
- ② 学びやすい環境の整備

（4）高等教育機関への期待

- ① 学ぶ人のニーズに合った多様な学習機会の提供

（5）行政機関への期待

- ① 行政機関内の連携の強化

（6）連携強化のための取組み

- ① キャリア教育等の推進のための連携強化
- ② リカレント教育等の推進のための連携強化